

若草中学校と小田南中学校の統合、 若草中学校区と小田北中学校の校区 変更について【お知らせ】

平成26年12月
発行:尼崎市教育委員会事務局
学校計画担当
電話:06-6489-6708

若草中学校と小田南中学校の統合につきましては、長期間にわたり、保護者あるいは地域住民の方々から、賛成というご意見だけではなく反対のご意見もいただいておりますが、今後も生徒数の減少傾向が継続するなかで緊急を要することや、耐震化を早急に進める必要があると判断し、教育委員会としましては、統合を進めていくこと、また、両校の統合と併せて若草中学校区と小田北中学校の校区変更（浜小学校区を全て小田北中学校区とする）を進めて行くことし、市議会において、統合場所となる学校校舎の整備にかかる設計予算をご承認いただきました。

統合に向けて、平成26年7月には統合等関係校の保護者や校区にお住まいの地域の方々を対象とした統合等方針内容説明会を開催しました。

説明会では、全ての方々のご理解を得られたものではありませんが、教育委員会では、学校の適正規模化を図り、子どもたちにとってより良い教育環境をつくり出すため、若草中学校と小田南中学校の統合と、併せて若草中学校区と小田北中学校の校区変更（浜小学校区を全て小田北中学校区とする）を平成28年4月を目途に進めてまいります。

今後は、円滑に統合が進むよう学校関係者等で構成した「統合推進委員会」で協議を始めてまいります。「統合推進委員会」での協議内容については、「統合推進委員会だより」を発行し、保護者や地域の皆様へ広くお知らせしてまいりますのでよろしくお願いいたします。

説明会でいただいた主なご意見等と、教育委員会の考え方（抜粋）

◆は参加者からの質問、□は教育委員会の考え方です。

① 適正規模・適正配置推進計画の進め方について

◆ 統合及び校区変更の具体的なスケジュールを教えてください。

□ 教育委員会が考えている具体的なスケジュールは、次のとおりです。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
統 合			統合 (現小田南中学校校舎の建て替え工事実施中の学校は、現若草中学校の位置)	校舎完成後、現小田南中学校の位置に移転		
	小田南中学校の校舎改築設計		小田南中学校の校舎改築工事			
統合対象中学校の生徒の動き			統合時の現小田南中学校又は現若草中学校在校生は、統合中学校の生徒とする 統合後の中学校入学者は、下記の校区変更対象地域を除き、統合中学校の生徒とする。			
校区変更			校区変更 現若草中学校区のうち、浜小学校区を小田北中学校区に編入			
現若草中学校区のうち、浜小学校区児童の動き	浜小学校6年生	若草中学校1年生	統合中学校2年生(学校は、現若草中学校の位置)	統合中学校3年生(学校は、現若草中学校の位置)	—	—
	浜小学校5年生	浜小学校6年生	小田北中学校1年生	小田北中学校2年生	小田北中学校3年生	—
	浜小学校4年生	浜小学校5年生	浜小学校6年生	小田北中学校1年生	小田北中学校2年生	小田北中学校3年生
	浜小学校3年生	浜小学校4年生	浜小学校5年生	もしくは入学時に希望する場合は、統合中学校1年生(学校は、現若草中学校の位置)	もしくは統合中学校2年生(学校は、現小田南中学校の位置)	もしくは統合中学校3年生(学校は、現小田南中学校の位置)

- ◆ 今後、両校関係者等による統合推進委員会を設置し、統合の準備をするとの説明だが、メンバーについては、地域の代表者や将来の保護者になられる方を加えていただきたい。
- ◆ 統合校の名称等を議会で承認してもらう時期はいつ頃か。
- 両校の校長等教職員や統合関係校の保護者代表、両校地域代表者の皆さまに参画いただいた統合推進委員会で、平成 28 年度の統合がスムーズに進められるよう協議を進めております。統合校の校名等を反映した「尼崎市立学校の設置及び管理に関する条例」の改正案を市議会に提案する時期については、平成 27 年 9 月頃を予定しています。
- ◆ H13 年度に答申が出されているのに何故、統合を進めるのにこれ程まで時間を要したのか。
- ◆ いきなり統合するとなれば保護者としても心構えができない。毎年説明会をするといった取組を行い保護者等の意見を聞くべきではないか。
- これまで若草中学校と小田南中学校の統合及び小田北中学校と若草中学校の通学区域の変更を適宜、関係する保護者等の皆様に説明してまいりました。その際に、常光寺小学校と杭瀬小学校の統合が進んでおり、両小学校の進学先が若草中学校であったことから、通いなれた学校がなくなり、異なる場所で、新しい児童や生徒の集団と一緒に生活することになるなど、大きな環境の変化を伴う学校統合を 2 度も経験させたくないという保護者からの意見等を受けて進まなかったものです。
- ◆ 若草中学校と小田南中学校の統合に関して、何故、最終的な統合校の位置が現在の小田南中学校の位置になったのか。
- ◆ 最終的な統合校の位置が、現在の小田南中学校から若草中学校に変更されることはないのか。
- 教育などを専門とされる大学の先生や市議会議員、小・中学校の先生、PTA 連合会役員及び社会福祉協議会の代表の方々などに「学校の適正規模・適正配置の具体的方策」について検討いただきました。その際に昭和 33 年に若草中学校が小田南中学校から分離していることや両校が至近距離に位置することから、若草中学校（現在の杭瀬小学校区）の適正規模化を図るには小田南中学校と統合することが適当とされ、統合後の学校の位置は、校地面積がより広く、統合後の校区の中心地により近い小田南中学校の位置が適当とされました。
なお、最終的な統合校の位置を小田南中学校から変更する考えはございません。

② 耐震診断について

- ◆ 平成 13 年度から適正規模事業を進めていたのであれば、現在までに若草中学校の耐震整備は可能であったのではないのか。
- ◆ 適正配置と耐震の問題を分けて考えられないのか。
- 平成 18 年に国土交通省が「平成 27 年度までに少なくとも 9 割の耐震化率にすることを目標」とした基本的な方針を示したことを受けて、尼崎市では平成 19 年に尼崎市立学校施設耐震化推進計画を定めました。統合計画対象校につきましては、統合した場合、児童・生徒数の増加に伴い校舎の増改築等の必要が生ずることから、統合について一定判断をする中で対応を考えることとしておりました。そのため、適正規模・適正配置推進計画に基づき、統合対象校の関係者の皆様にこれまで統合に向けての話をさせていただいたものです。
- ◆ 若草中学校の耐震診断をしてもらえないのか。

- ◆ 若草中学校の既存校舎を耐震整備してから統合すべきでないのか。
- ◆ 生徒が過ごす教室を全てプレハブ校舎にすることはできないのか。
- ◆ 若草中学校は耐震整備をしていないということですが、校舎が老朽化しており、雨漏りで音楽室の天板が落ちたと聞いている。修繕の必要な箇所については、対応をお願いしたい。

□ 若草中学校と小田南中学校の統合後の新校舎を設計する経費を盛り込んだ平成26年度予算案を市議会に提案し、承認をいただいております。今後、平成28年度を目途に若草中学校を仮校舎として統合すると同時に、小田南中学校の位置での校舎整備を進め、整備終了後、平成30年度に小田南中学校の位置に移転する方針です。そうすることで少しでも早く、耐震性を確保した新しい校舎を建設し、両校の生徒が過ごすことができるようになると考えております。

仮に若草中学校における校舎の耐震整備を、小田南中学校の場所に設置する新校舎建設整備と同時に進めたとしても、耐震診断、診断に基づく校舎整備設計、耐震工事に数年を要しますこと等から、教育委員会としましては若草中学校を仮校舎として使用する期間は、既存校舎の教室を最大限活用し、それでも不足する教室を仮設校舎で補う考えです。

なお、若草中学校の校舎につきましては、再点検に基づき対応可能な修繕等の処置を行ってまいる考えです。

③ 小田南中学校の位置に整備する校舎について

- ◆ 現、小田南中学校の耐震診断結果では、北校舎棟と体育館が補強と診断されています。教育委員会の説明では、生徒の学習環境等も勘案し北棟と体育館も建替えるとのことですが、設計の予算には盛り込まれているのですか。

□ 現、小田南中学校敷地に整備する若草中学校との統合中学校校舎については、南棟や便所棟のみならず、北棟や体育館も含めて建替えをする考えで設計予算にも盛り込み済みです。

- ◆ 校舎の配置は決まっているのですか。プールについても、この際校舎と一体で整備して、校地面積を最大限利用できるように考えてはどうか。

- ◆ 教育委員会の説明では校舎整備に2年が必要とのことですが、体育館や北校舎の建替え整備に必要な期間も含めているのですか。

- ◆ 校舎の高層化を図り、非常時の飲料水、食料、毛布等を収納する物資備蓄倉庫のようなものを作っていただきたい。

- ◆ 統合中学校の校舎設計の予算が議会で承認されたとのことだが、建設する工事予算が議会で承認を得られないこともあるのか。

□ 統合中学校の校舎の配置や各校舎を何階建にするかといったことを含めた設計については、統合後の学級数見込み等を基に今後、協議検討していくこととなります。また、現、小田南中学校の位置に建設する校舎の必要な工事費については、市内部で精査したうえ、市議会でご承認いただけるよう準備を進めていく考えです。

④ 通学安全について

- ◆ 若草中学校を仮校舎として使用する間、大物町から通学する場合には距離がかなり遠くな

る。バス通学や自転車通学を認めて貰えないのか。

□ 自転車通学については、現在は課外クラブで遠方に外出するといった場合等に限り認められています。統合に伴う遠距離通学の対応につきましては、両校の校長等教職員や統合関係校の保護者代表、両校地域代表者の皆さまに参画いただいた統合推進委員会で協議していきます。

◆ 若草中学校を仮校舎として過ごす場合、JR以南の校区に住む生徒は高架下の道路を通ることになる。道路の位置が低く冠水などの危険性があると思うが、対応していただけるのか。

□ 道路の冠水に関してのお尋ねですが、現、若草中学校では、午前7時現在で、「尼崎市」に「大雨警報」「洪水警報」「暴風（暴風雪含む）警報」及びこれらにかかる「特別警報」が発令された場合は臨時休校になります。また、学校付近で局地的な豪雨及びその他の災害が発生した場合は、緊急に連絡網等で臨時休校等の処置がとられます。

◆ 平成28年度から若草中学校を仮校舎として使用するとの説明ですが、それまでに通学安全に関する対応が全て完了するという保障はあるのか。

◆ 通学路の安全確保をお願いします。

◆ 現、若草中学校を仮校舎として平成28年度に統合することのことだが、現、小田南中学校区からの通学路はどうなるのか。学校から指定されるのか。

◆ 若草中学校と小田南中学校の統合に併せて、浜小学校区（若草中学校区）が小田北中学校区に変更となることのことだが、小田北中学校への通学路の整備が全く行われていない。いつ行われるのか。

□ 統合に伴い生徒が新たに通学することになる道路を、統合に関係するPTA役員や教育委員会職員等で点検し、対応可能な通学安全対策などを協議・検討していきます。

なお、小田北中学校区に校区変更になる地域につきましても、これまでもお答えしてきたとおり、関係校の保護者の皆さんと教育委員会等で実際に通学することになる道路を歩いて危険箇所等の有無を確認し、必要に応じて道路を管理している部署等に整備を働きかけてまいります。

⑤ その他

◆ 若草中学校を仮校舎として統合した際の3年生は、現若草中学校と小田南中学校の生徒が混合するクラス編成になるのか。また、教師は、現若草中学校の教師をそのまま配置する予定なのか。

□ クラス編成や統合中学校の教員の配置については、両校の生徒数や状況を踏まえ、統合後も生徒が不安を抱くことなく伸び伸びと学校生活を送ることができるよう十分に配慮いたします。

◆ 平成28年度に統合を予定しているが、制服が混在した状態で授業を行うのか。

□ 制服の扱いについては、今後、学校関係者やPTA等で構成する統合推進委員会で検討してまいります。

以上